



令和6年度

# 館 報

埼玉県立嵐山史跡の博物館

# 令和6年度 館 報

## 目 次

第1章	沿革	1
第2章	菅谷館跡の概要	1
第3章	管理運営概要	3
1	嵐山史跡の博物館のミッション（使命）	
2	組織	
3	職員	
4	予算	
5	入館状況	
第4章	令和5年度事業報告	7
第5章	令和6年度事業計画	11
1	経営の基本方針	
2	中期目標	
3	重点事業	
4	事業の概要	
5	主な事業の内容	
第6章	収蔵資料概要	16
第7章	施設設備の概要	17
1	施設設備の概要	
2	各室配置図及び面積	
利用案内		21

## 第1章 沿革

---

昭和47年	8月	教育局文化財保護室において歴史資料館（仮称）建設のため調査開始
昭和48年	1月	歴史資料館（仮称）建設基本計画を作成
昭和48年	5月	菅谷館跡が国指定史跡に指定される
昭和48年	10月	建設予定他の発掘調査を実施（12月まで） 史跡菅谷館跡整備事業基本構想を策定
昭和50年	6月	歴史資料館（仮称）館舎竣工
昭和51年	4月	開館
昭和52年	9月	展示館竣工
平成3年	4月	皇太子殿下行啓（24日）
平成6年	3月	歴史資料館大規模改修工事完了
平成9年	4月	比企歴史の丘総合ガイダンス機能の導入
平成18年	4月	埼玉県立嵐山史跡の博物館としてリニューアルオープン
平成20年	3月	国指定史跡「比企城館跡群菅谷館跡」として指定名称変更
平成28年	10月	施設改修工事竣工（外壁塗装、電灯LED化、収蔵庫空調設置、設備改修） 展示室学習コーナー整備
令和5年	10月	菅谷館跡国指定史跡50周年記念シンポジウムを開催

## 第2章 菅谷館跡の概要

---

### 1 位置と歴史

国指定史跡「比企城館跡群菅谷館跡」は、鎌倉時代の武将畠山重忠が居住していた館に起源を持つと伝えられ、総面積は約13万平方メートルである。館跡は松山台地の最奥部に築かれ、南部は都幾川によって侵食された崖で、東と西は谷となっている。現在確認されている遺構は、この地形を巧みに利用した複雑な縄張りで、戦国時代に構築されたものと考えられている。

館跡の周辺には縄文時代から奈良・平安時代さらに鎌倉、室町、戦国の各時代にわたる遺跡が所在している。そして、この地は遺跡群の中を、古代から中世にかけて武蔵国と上野国、信濃国を結んだ通称「鎌倉街道」が通った交通の要衝でもあった。

比企地域には、現在分かっているだけで69ヶ所の中世城館の遺跡があり、関東を代表する城館跡群となっている。これらのうち、菅谷館跡・松山城跡・杉山城跡・小倉城跡が城郭規模や築城技術等の特徴、良好な保存状態から「比企城館跡群」として国史跡に指定された。

## 2 遺構概観

菅谷館跡は高い土塁と深い堀に囲まれ、五つの郭<sup>くるわ</sup>からなる複郭式の平城である。土塁には、戦国時代に出現する防衛上の重要な施設である「折」や「出柵形土塁」が要所に設けられている。

本郭は、四方を空堀と土塁に囲まれており、ここに畠山重忠の館があったのではないかと伝えられている。7月になると、本郭土塁には自生したヤマユリが開花する。

二ノ郭は、館跡の中央部分にあたり、東西に細長い郭である。土塁は高く幅広で「折」が三か所あり、一部は削平され芝生となっている。また郭内にはあずまや、ベンチ、水のみ場、トイレなどがあり、カンザクラやカワヅザクラ、モミジなどの花木を、四季を通じて楽しむことができる。

三ノ郭は菅谷館では最も広い郭で、発掘調査の結果、かつての建物跡や井戸の跡などがみついている。現在は博物館施設、駐車場、トイレ等が整備されている。郭の北側には搦手門跡<sup>からてもんあと</sup>と伝えられる出入口<sup>こぐち</sup>（虎口）があり、現在は国道254号バイパスと博物館駐車場を結ぶ車道として使われている。なお、この虎口は、前面に急勾配をつけて敵の侵入を困難にさせる坂虎口という構造であったと考えられており、現在もわずかながら往時をしのぶことができる。

西ノ郭は、館跡の北西部分にあたり、本郭から最も離れている。ここには大手門跡と称される虎口がある。郭は長方形をしており、北から南に緩やかに傾斜している。三ノ郭との間には木橋が架けられ、周辺は整備されて空堀や土塁の形が見学しやすくなっている。

南郭は、本郭から一段下の南側に設けられた郭である。都幾川の崖上に位置し、敵が直接本郭へ侵入できないように設けたものである。

## 3 自然環境

菅谷館跡は、県立比企丘陵自然公園の一角にあり、落葉樹のクヌギ、ケヤキ、モミジなどのほか、スギ、ヒノキの植林が一部にみられる。堀の肩に沿ってツツジやサツキ、さらに見学路に沿って四季折々の花木が植えられ、堀の中にはハナショウブもみられる。

また、緑の多い館跡内や都幾川の河原にかけては野鳥の生息に良好な環境となっており、さまざまな野鳥の観察が楽しめ、国の蝶であるオオムラサキの産卵場所にもなっている。

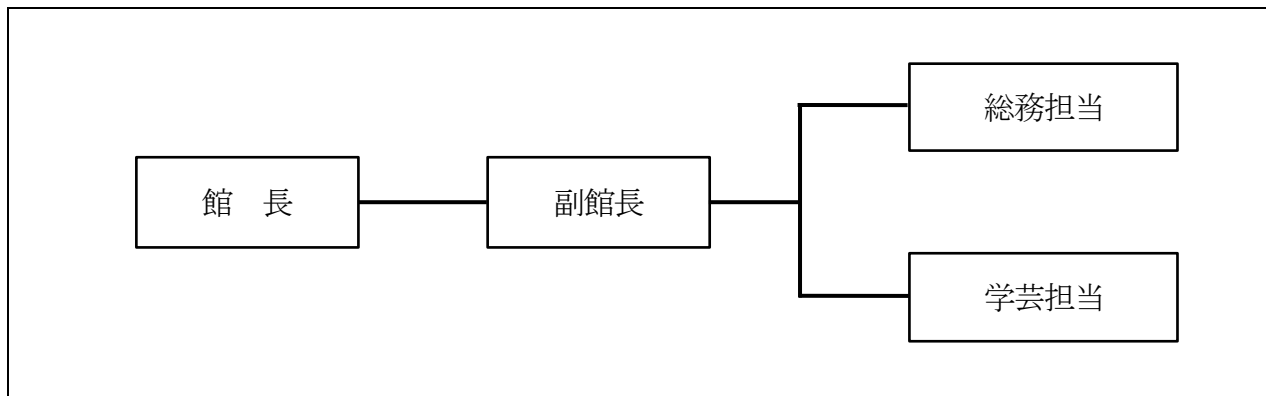
## 第3章 管理運営概要

### 1 嵐山史跡の博物館のミッション（使命）

嵐山史跡の博物館は、国指定史跡「比企城館跡群菅谷館跡」や、比企地域の中世城館跡をはじめとする貴重な文化財を、将来にわたって確実に保存・管理するとともに、関係資料の収集、保管、調査研究を進め、その成果を展示等により公開していくことを基本的使命としている。

- 1 菅谷館跡や比企地域の中世城館跡などをはじめとする貴重な文化財を次世代に継承するため、関係資料の調査研究、収集、保管、活用を図る。
- 2 県内の中世城館跡や寺院跡、板碑や中世石造遺物等に関する調査研究の成果を各市町村等と連携しながら展示公開する。
- 3 地域や学校と連携し、菅谷館跡や比企地域の中世城館跡などをはじめ、中世の史跡に関する学習を支援する。
- 4 ボランティアの育成や活用を積極的に行うとともに、地域社会の様々な団体と連携して事業を行うなど、開かれた博物館活動を推進する。
- 5 菅谷館跡を中心にして県民が集い、交流し、活動する、やすらぎと潤いのある快適な歴史空間を提供する。

### 2 組織



### 3 職員

(令和6年4月1日現在)

職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名
(兼)館長	野中 仁	(兼)担当課長	井原 秀実	会計年度任用職員	荻野 真由美
副館長	安藤 伊知郎	(兼)学芸員	宮原 正樹	会計年度任用職員	小久保 祐子
主任	相馬 一行	(兼)主任専門員兼学芸員	水口 由紀子	会計年度任用職員	鈴木 京子
主任学芸員	関口 真規子	会計年度任用職員	菊地 初枝	会計年度任用職員	戸口 光子
学芸員	堀口 智彦	会計年度任用職員	秋田 幸子		
主任専門員兼学芸員	石坂 俊郎	会計年度任用職員	阿部 綾子		
主任専門員兼学芸員	君島 勝秀	会計年度任用職員	魚住 恵子		

# 4 予算

令和6年度予算見積調書 その1

課室名 風山史跡の博物館  
担当名 総務担当  
担当者名 相馬 内蔵

単位：千円

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業	
N192	風山史跡の博物館管理運営費(内部管理経費)	一般会計	教育費	社会教育費	博物館費	史跡の博物館費	
事業期間	昭和51年度～ 令和6年度	根拠法令	根拠法令	根拠法令	根拠法令	根拠法令	
1 事業概要	博物館施設設備や、菅谷館跡の維持管理を行い、県民に安全で利用しやすい施設を提供する。 また、常設展示、教育普及、調査研究を中心とした各種事業を実施し、県民共有の文化遺産を広く公開し、活用を図る。 ア 施設、船跡等維持管理業務 2,051千円 イ 展示館開館業務 579千円 ウ 調査研究事業 156千円	5 事業説明	(1) 事業内容 ア 施設、船跡等維持管理業務 2,051千円 一般廃棄物処理、展示機器等設備保守管理、菅谷館跡敷地管理、公用車管理(建物延べ床面積 3,533㎡、菅谷館跡 126,731㎡) イ 展示館開館業務 579千円 展示館開館に係る観覧券・入館者用パンフレット印刷(令和4年度開館日数：303日) ウ 調査研究事業 156千円 常設展示及び展示資料調査・研究 (2) 事業計画 ア 年間を通じて、博物館施設及び指定史跡菅谷館跡の維持管理を行う。 イ 菅谷館跡をはじめとした中世城館跡群ゆかりの展示・解説を行い、県民の郷土の歴史・文化や自然に対する理解を深めていただく。 (3) 事業効果 利用者数 令和6年度目標：72,000人(参考：平成元年度：令和2年度：21,612人、令和3年度：45,047人、令和4年度：79,603人) (4) 県民・民間活力、職員のマンスターの活用、他団体との連携状況 ア 高校生ボランティア：小学生を対象としたイベント運営補助、博物館学芸員の仕事体験等 イ 博物館ボランティア：展示解説、菅谷館跡のガイド、体験学習の指導のサポート等				
2 事業主体及び負担区分(県10/10)		(3) 事業効果	利用者数 令和6年度目標：72,000人(参考：平成元年度：令和2年度：21,612人、令和3年度：45,047人、令和4年度：79,603人)				
3 地方財政措置の状況	普通交付税(単位費用) (区分)その他教育費 (細目)社会教育費 (細目)社会教育施設費 (積算内容)博物館費	(4) 県民・民間活力、職員のマンスターの活用、他団体との連携状況	ア 高校生ボランティア：小学生を対象としたイベント運営補助、博物館学芸員の仕事体験等 イ 博物館ボランティア：展示解説、菅谷館跡のガイド、体験学習の指導のサポート等				
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×6人=57,000千円						
要求額・審査額	使用料・手数料	財産収入		一般財源	前年との対比	過去の子算額(一般財源)	現計予算額
概 算	2,786	906	229	1,651	518	7,411 (4,459)	2,268
要 算	2,786	906	229	1,651	518	6,105	うち一財
調 査	2,205	1,066	229			(3,484)	973
1 9 2							

令和6年度予算見積調書 その1

課室名 風山史跡の博物館  
担当名 総務担当  
担当者名 相馬 内蔵

単位：千円

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業	
P76	風山史跡の博物館管理運営費	一般会計	教育費	社会教育費	博物館費	史跡の博物館費	
事業期間	昭和51年度～ 令和6年度	根拠法令	根拠法令	根拠法令	根拠法令	根拠法令	
1 事業概要	博物館施設設備や、菅谷館跡の維持管理を行い、県民に安全で利用しやすい施設を提供する。 また、常設展示、教育普及、調査研究を中心とした各種事業を実施し、県民共有の文化遺産を広く公開し、活用を図る。 ア 常設展示事業 2,348千円 イ 教育普及事業 883千円	5 事業説明	(1) 事業内容 ア 常設展示事業 2,348千円 展示資料運搬・梱包業務、展示替え記録、ポスター等印刷 イ 教育普及事業 883千円 児童生徒の体験学習、各種講座の開催、ボランティアの活用等 (2) 事業計画 ア 菅谷館跡をはじめとした中世城館跡群ゆかりの展示・解説を行い、県民の郷土の歴史・文化や自然に対する理解を深めていただく。 イ 教育普及事業 小・中学校の体験事業の受入れ、各種講座の開催、ボランティアの活用を行い、郷土の歴史・文化や自然に対する意識の高揚を図る。 (3) 事業効果 利用者数 令和6年度目標：72,000人(参考：令和2年度：21,612人、令和3年度：45,047人、令和4年度：79,603人) 【活動指標(アウトプット)】5年間の常設展、企画展、スポーツ展等実施回数：49回、5年間の文化財めぐり、歴史講座等実施回数：95回 【成果指標(アウトカム)】R4観覧者満足度：常設展88.6%、企画展96.9%、講座等91.5% (4) 県民・民間活力、職員のマンスターの活用、他団体との連携状況 ア 高校生ボランティア：小学生を対象としたイベント運営補助、博物館学芸員の仕事体験等 イ 博物館ボランティア：展示解説、菅谷館跡のガイド、体験学習の指導のサポート等				
2 事業主体及び負担区分(県10/10)		(3) 事業効果	利用者数 令和6年度目標：72,000人(参考：令和2年度：21,612人、令和3年度：45,047人、令和4年度：79,603人)				
3 地方財政措置の状況	普通交付税(単位費用) (区分)その他教育費 (細目)社会教育費 (細目)社会教育施設費 (積算内容)博物館費	(4) 県民・民間活力、職員のマンスターの活用、他団体との連携状況	ア 高校生ボランティア：小学生を対象としたイベント運営補助、博物館学芸員の仕事体験等 イ 博物館ボランティア：展示解説、菅谷館跡のガイド、体験学習の指導のサポート等				
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×6人=57,000千円						
要求額・審査額	財産収入	請求収入		一般財源	前年との対比	過去の子算額(一般財源)	現計予算額
概 算	3,231	1,526	257	1,448	△528	3,759	3,759
要 算	3,231	1,526	257	1,448	△528	うち一財	
調 査	3,759	1,176	273	2,310		2,310	
7 6							

# 5 入館状況

(1) 年度別入館者一覧表

年度	開館日数	個人		団体		入館料免除者		年間合計	累計
		一般	学生等	一般	学生等	一般	学生等		
昭和52	116	4,390	1,469	3,894	231	6,306	2,439	18,729	18,729
53	291	9,951	3,344	11,893	1,878	6,637	8,807	42,510	61,239
54	296	11,233	3,721	8,578	1,559	5,240	12,970	43,301	104,540
55	294	11,046	3,726	7,898	1,918	4,614	12,628	41,830	146,370
56	296	10,598	3,653	7,588	2,086	3,732	15,682	43,339	189,709
57	295	10,067	3,715	6,064	2,018	4,538	16,808	43,210	232,919

年度	開館 日数	個人		団体		入館料免除者		年間合計	累 計
		一般	学生等	一般	学生等	一般	学生等		
58	295	9,196	3,131	6,779	1,188	2,982	18,821	42,097	275,016
59	294	9,518	3,149	5,291	1,768	5,760	17,976	43,462	318,478
60	295	10,790	3,254	6,511	2,138	4,303	15,579	42,575	361,053
61	296	11,699	3,506	4,979	1,162	4,388	19,110	44,844	405,897
62	296	11,732	3,041	4,319	1,398	3,323	15,503	39,316	445,213
63	270	10,643	2,715	3,732	1,141	3,252	11,671	33,154	478,367
平成 元	292	10,952	2,506	4,491	1,769	4,230	10,179	34,127	512,494
2	294	10,790	2,422	3,350	1,070	4,121	8,310	30,063	542,557
3	294	11,318	2,309	3,360	467	5,179	11,878	34,511	577,068
4	292	12,178	2,273	3,107	402	6,490	9,760	34,210	611,278
5	219	10,660	1,860	2,049	303	4,407	6,760	26,039	637,317
6	247	10,116	1,867	1,261	512	4,426	6,235	24,417	661,734
7	294	10,948	361	1,232	20	13,200	14,071	39,832	701,566
8	218	8,390	301	1,021	59	12,775	11,491	34,037	735,603
9	296	10,501	358	1,332	46	34,288	17,359	63,884	799,487
10	295	9,697	295	615	75	46,096	13,726	70,504	869,991
11	292	8,154	355	693	61	39,780	12,057	61,100	931,091
12	296	6,932	279	677	61	43,883	11,222	63,054	994,145
13	300	7,369	284	595	32	32,152	15,124	55,556	1,049,701
14	299	7,213	283	611	0	42,083	11,827	62,017	1,111,718
15	297	6,465	254	521	182	37,713	10,679	55,814	1,167,532
16	279	8,290	300	380	205	37,106	10,070	56,351	1,223,883
17	288	8,542	258	752	141	35,770	12,443	57,906	1,281,789
18	301	7,728	212	628	40	46,668	9,882	65,158	1,346,947
19	309	6,674	207	542	99	50,455	9,346	67,323	1,414,270
20	308	5,659	241	480	110	50,043	9,033	65,566	1,479,836
21	308	6,076	241	388	74	46,729	8,109	61,617	1,541,453
22	308	4,567	185	325	40	41,167	7,201	53,485	1,594,938
23	308	4,651	217	348	53	41,106	6,694	53,069	1,648,007
24	308	3,648	138	687	22	41,666	5,719	51,880	1,699,887
25	308	4,368	135	1,017	38	38,942	5,071	49,571	1,749,458
26	308	5,469	149	1,379	25	31,974	6,312	45,308	1,794,766
27	308	4,843	112	1,588	2	38,521	3,451	48,517	1,843,283
28	178	5,120	111	889	1	42,665	3,625	52,411	1,895,694
29	306	5,853	138	1,260	43	53,756	4,679	65,729	1,961,423
30	312	8,361	218	2,555	14	57,108	5,787	74,043	2,035,466
令和 元	283	6,374	202	2,472	10	23,866	3,760	36,684	2,072,150
2	183	4,265	102	0	0	6,502	1,368	12,237	2,084,387
3	300	10,077	194	226	2	13,001	2,259	25,759	2,110,146
4	303	15,747	306	1,448	5	30,241	1,684	49,431	2,159,577
5	307	7,854	198	682	44	20,321	2,258	31,357	2,190,934

(2) 令和5年度利用者数一覧表

区分	有料入館者数												無料入館者数												合計					
	年間観覧券購入		個人		団体				他館年間観覧券による割引		有料入館者人数計	入館料計	年間観覧券による再来館者		団体								個人				無料入館者人数計	団体数	入館者数	
	月	一般	学生	一般	学生	一般		学生		一般			学生	一般	学生	小学校		中学校		高校		大学等		一般		小・中学生				障害者
						団体数	人数	団体数	人数		団体数	人数				団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数					
4月	0	0	609	7	2	45	0	0	1	0	662	64,010	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4	25	42	50	9	1,509	1,637	6	2,299
5月	0	0	847	18	1	25	0	0	1	0	891	87,160	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	30	110	62	5	2,017	2,225	6	3,116
6月	7	0	781	4	1	46	0	0	0	0	838	89,460	1	0	2	169	1	6	0	0	0	3	15	25	79	2	1,864	2,161	7	2,999
7月	0	0	643	14	2	43	0	0	1	0	701	67,640	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	16	54	39	3	1,530	1,643	6	2,344
8月	0	0	575	26	1	47	0	0	0	0	648	61,620	5	0	0	0	0	0	0	0	0	6	46	104	37	24	1,402	1,618	7	2,266
9月	0	0	470	15	1	100	0	0	0	0	585	53,750	6	0	1	90	0	0	0	0	0	4	24	33	8	4	1,228	1,393	6	1,978
10月	4	0	616	8	5	115	1	14	0	0	757	74,120	0	0	6	373	0	0	0	0	0	12	78	41	39	17	1,824	2,372	24	3,129
11月	0	0	722	22	1	20	0	0	0	0	764	74,500	3	0	7	377	0	0	0	0	0	13	275	53	14	19	2,210	2,951	21	3,715
12月	0	0	465	11	4	184	0	0	1	0	661	58,150	0	0	2	151	2	8	0	0	0	10	40	28	18	4	1,267	1,516	18	2,177
1月	0	0	613	12	0	0	0	0	1	0	626	61,960	0	0	2	127	0	0	0	0	0	4	9	30	35	19	1,183	1,403	6	2,029
2月	2	0	863	36	1	1	1	30	1	0	933	91,520	2	0	5	290	1	29	0	0	0	10	42	48	47	17	1,747	2,222	18	3,155
3月	0	0	601	25	2	56	0	0	0	0	682	64,710	9	0	0	0	0	0	0	0	0	5	17	70	42	2	1,328	1,468	7	2,150
合計	13	0	7,805	198	21	682	2	44	6	0	8,748	848,600	30	0	25	1,577	4	43	0	0	0	80	617	638	470	125	19,109	22,609	132	31,357



## 第4章 令和5年度事業報告

### 事業の概要

#### (1) 管理運営事業

- ア 本館及び展示館の施設設備等の保守点検・維持管理を行った。  
また、展示館を開館して、資料の展示公開及び活用を図った。
- イ 開館日数 年間 307日 総利用者数 54,793人（アウトリーチ含む）
- ウ 臨時休館  
1月8日（月・祝）～1月12日（金）、3月4日（月）～3月8日（金）  
常設展の撤収、企画展展示作業

#### (2) 菅谷館跡管理事業

土塁・空堀等遺構の保存を図り、史跡公園として広く安心・安全に県民の利用に供するため、清掃、除草、樹木の伐採・剪定、補修等の維持管理を行った。

#### (3) 調査研究事業

国指定史跡「比企城館跡群菅谷館跡」及び比企地域の中世城館跡を中心に、考古資料の収集及び調査研究を行った。

- ア 国指定史跡「比企城館跡群菅谷館跡」関連資料調査
- イ 武蔵武士に関する調査
- ウ 中世城館跡に関する調査
- エ 板石塔婆の調査
- オ 中世石造物の調査
- カ 古代中世遺跡の調査

#### (4) 教育普及事業

調査研究事業の成果や収蔵資料を活用した講座・見学会等の開催や、各種印刷物を刊行した。

- ア 歴史講座1 統一テーマ「中世城郭から近世城郭へ—忍城・川越城—」  
会場 国立女性教育会館  
第1回 8月18日（金） 「忍城400年の歴史～築城から廃城まで～」  
行田市郷土博物館 鈴木 紀三男 氏 309人  
第2回 9月22日（金） 「近世の川越藩と川越城」  
川越市教育委員会 宮原 一郎 氏 270人  
合 計 579人
- イ 歴史講座2 統一テーマ「享徳の乱前後の関東」  
会場 国立女性教育会館  
第1回 11月10日（金） 「享徳の乱と武蔵国」  
東洋大学 木下 聡 氏 221人  
第2回 12月15日（金） 「足利成氏と武蔵国」  
馬の博物館 長塚 孝 氏 184人  
合 計 405人

ウ	菅谷館跡国指定史跡50周年記念シンポジウム 「いま振り返る 菅谷館跡の50年ーそして次の50年へー」 会場 国立女性教育会館 10月22日（日） 基調講演「御家人銀座 嵐山」	271人
	東京大学史料編纂所 本郷 和人 氏 報告①「菅谷館跡の保存と埼玉県立歴史資料館設立の頃」 元埼玉県立歴史資料館長 梅沢 太久夫 氏 報告②「菅谷館跡と周辺遺跡のあるべき姿 ー現状・課題、活用方法についてー」 菅谷館跡保存活用計画策定委員会委員長 浅野 晴樹 氏 討論 「いま振り返る 菅谷館跡の50年ーそして次の50年へー」	
エ	企画展記念講演会「武蔵武士の中世ー鎌倉から室町へー」 会場 国立女性教育会館 2月25日（日） 「中世の食とその後」	140人
	女子栄養大学 竹内 由紀子 氏	
オ	企画展関連事業 1月24日（水） 「鎌倉時代の武士飯献立」嵐山町立幼稚園・小学校・中学校	1,227人
カ	文化財めぐり 統一テーマ「比企の城館跡を訪ねる」 第1回 5月26日（金）「比企城館跡群のひとつ・杉山城を訪ねる」（嵐山町） 第2回 11月17日（金）「石積みの山城・小倉城を訪ねる」※悪天候のため講座を実施 第3回 3月1日（金）「小倉城を訪ねる」（ときがわ町）	26人 10人 31人
キ	こどもの日記念事業、夏休みこども体験教室 5月5日（金）「かぶとやこうちぎを着けてみよう」 7月30日（日）「金継ぎにチャレンジ」（午前11組・午後3組）	29人 14組
ク	館跡整備イベント 12月3日（日）「お城開き～清掃大作戦 冬の陣～」	10人
ケ	県民の日記念事業 11月14日（火）「昔のあそび」（投扇・貝合わせ・お手玉・けん玉など）	26人
コ	ボランティアの受け入れ ① 博物館ボランティア（大人による事業アシスタント） 登録 28人 活動参加延べ人数 282人 ② 高校生ボランティア（高校生による子ども向け事業のアシスタントなど） 登録 7人 活動参加延べ人数 16人 ③ 史跡環境保全ボランティア（館跡内の樹木の伐採や剪定のボランティア） （この他、協力団体2団体あり） 登録 20人 活動参加延べ人数 16人	
	合 計	314人
サ	学校教育活動の支援 主に小・中学校の児童・生徒を対象にした体験学習等を通年で実施した。 ① 体験学習等実施 利用数 延べ 25校、合計 1,518人 ② 展示室・館跡見学実施 利用数 延べ 1校、合計 88人 合計 利用数 延べ 26校、合計 1,606人	
シ	入館者に対する解説・レファレンスの実施	51件

ス 刊行物

- ・館報 第42号 (A4判 20頁)
- ・企画展「武蔵武士の食と信仰ー食べて 祈って 戦ってー」図録 (A4判 32頁)

セ 関係機関、団体との情報交換及び連絡提携

- ・彩の国・文化の森連絡協議会との連携 1件

(5) 常設展示事業

ア 比企歴史の丘ガイドダンス

ビデオブース等で比企地域の様々な文化財や観光地などを映像で紹介し、探訪コースや文化財などの情報をはじめ、彩の国比企歴史の丘に関する総合案内を行った。

イ 比企の古代・中世遺跡

畠山重忠ロボット・男衾三郎絵詞・菅谷館跡とその周辺・武士の館・史跡比企城館跡群・供養と埋葬の各コーナーで中世における武士と庶民の暮らしを紹介した。

ウ 多言語展示映像の公開

男衾三郎絵詞(東京国立博物館蔵)の画像をもとに、「鎌倉武士の世界」「鎌倉武士の館」「鎌倉武士の暮らし」「鎌倉武士の戦」「鎌倉武士の武芸鍛錬」の5本を、日本語、英語、韓国語、中国語及び台湾語について制作し、映像展示システムを構築の上、常設展で公開している。

エ ロビー展示

- |                       |                    |
|-----------------------|--------------------|
| ① 東武東上線 この10年展        | 4月1日(土)～5月7日(日)    |
| ② 嵐山町写真クラブ展「第17回写真展」  | 5月9日(火)～6月11日(日)   |
| ③ 堅香子俳句展              | 6月13日(火)～7月23日(日)  |
| ④ 館跡の虫たち展             | 7月25日(火)～8月27日(日)  |
| ⑤ スポット展連携展示 菅谷館跡の発掘調査 | 8月29日(火)～10月22日(日) |
| ⑥ 大妻嵐山中学校・高等学校生徒作品展   | 10月24日(火)～1月7日(日)  |
| ⑦ 国指定史跡 比企城館跡群写真展     | 1月13日(土)～3月3日(日)   |
| ⑧ 比企の中世石造物            | 3月9日(土)～3月31日(日)   |

オ スポット展示

- |                         |                  |
|-------------------------|------------------|
| ① 近現代の菅谷館跡              | 4月1日(土)～6月11日(日) |
| ② 菅谷館跡国史跡指定50周年展        | 8月29日(火)～1月7日(日) |
| ③ お経いろいろー長瀬総合博物館旧蔵資料からー | 3月9日(土)～3月31日(日) |

カ 館跡ガイドツアー

- |               |                |                |
|---------------|----------------|----------------|
| ① 4月22日(土) 3人 | ② 5月5日(金・祝) 8人 | ③ 6月10日(土) 11人 |
| ④ 1月13日(土) 7人 | ⑤ 2月24日(土) 9人  | ⑥ 3月23日(土) 4人  |
- 合計42人

(6) 企画展示事業

「武蔵武士の食と信仰ー食べて 祈って 戦ってー」

埼玉県域および近隣都県に伝わる考古資料や絵画資料、歴史資料から、武蔵武士たちが何をどのように食べたのかを紹介するとともに、食にまつわる信仰について紹介した。

- ・展示資料数 117点(資料97点、写真パネル20点)
- ・会 期 1月13日(土)～3月3日(日)(46日間)
- ・観 覧 者 数 2,311人
- ・展示紹介 110人

(7) 資料利用状況

ア 資料利用（熟覧・実測・撮影等） 5件 5点

(8) 資料の受入

ア 資料の受け入れ 10点

イ 図書を受け入れ 812点

(9) 環境調査

ア 時 期 歴史と民俗の博物館職員が毎月1回実施

イ 場 所 収蔵庫内10か所

ウ 実施目的 収蔵庫に生息すると考えられる昆虫、菌類の状況調査、及び温湿度管理

エ 方 法 加害生息生物（トラップ）  
温湿度計測（データロガー）

(10) 比企地区文化財振興協議会との協同事業

ア 比企歴史の丘巡回文化財展「比企のタイムカプセル22 比企の社」

神社を中心とするひとつのまとまりを「杜（もり）」と捉え、比企地域に今もなお伝わる  
神社に関わる文化財を通じてその実態や特徴を紹介した。

会 期 10月24日（火）～11月26日（日）（当館）

観覧者数 2,432人（当館）

## 第5章 嵐山史跡の博物館 令和6年度事業計画

---

### 1 経営の基本方針

- (1) 国指定史跡「比企城館跡群菅谷館跡（以下「菅谷館跡」という。）」を適切に管理し、県民にやすらぎのある快適な歴史空間を提供する。
- (2) 菅谷館跡や埼玉県の中世城館跡等に関する資料の収集、保管、調査研究を行い、その成果を展示等により公開する。
- (3) 収蔵資料等を活用し、学校教育や生涯学習への支援を行う。
- (4) さきたま史跡の博物館をはじめ、市町村や地域の諸団体と連携し、県民サービスの向上に努める。
- (5) 財源の確保や効率的な財政運営に努め、総コストの抑制を図る。

### 2 中期目標

菅谷館跡保存活用計画の実現に向けた各種事業の実施

### 3 重点事業

- (1) 菅谷館跡及び埼玉県の中世城館跡に関する考古資料の調査研究、収集、保存管理活動の推進
  - ア 中世考古資料に関する調査研究活動の推進
    - ・菅谷館跡及び埼玉県の中世史跡に関する調査研究と成果の展示公開
  - イ 資料の収集、保存管理
    - ・収蔵資料（考古・歴史）の収集、保存管理
- (2) 史跡や収蔵品を活用した地域活性化の推進
  - ア 比企歴史の丘整備促進事業の推進
    - ・比企地域中世遺跡群の活用推進
  - イ 菅谷館跡の維持、管理の徹底
    - ・菅谷館跡及び博物館施設の適切な維持管理
    - ・館のオリジナルグッズの開発・普及
  - ウ 学校教育活動の支援の推進
    - ・収蔵品を用いた体験活動など児童生徒の学習支援の推進
- (3) 戦略的な広報活動と、いつでも・だれでも参加できる事業の展開
  - ア ホームページ、SNSを通じた適時適切で親しみやすい広報の展開
  - イ デジタル化した中世資料の公開
  - ウ 参加者のニーズをとらえた講座や見学会等の実施
- (4) 地域や民間などとの連携による事業展開
  - ア 嵐山まつり、スリーデーマーチなど地元主催事業との連携協力
  - イ 館内ロビー展示の開催
  - ウ ボランティアの養成と活動機会の確保

## 4 事業の概要

### (1) 管理運営事業

- ア 本館及び展示館の開館に係る事務及び施設設備等の保守点検・維持管理を行う。
- イ 開館予定日数 年間304日
- ウ 臨時休館  
企画展開催に伴う臨時休館（10日間）  
令和7年1月7日（火）～1月10日（金）、3月4日（火）～3月7日（金）
- エ 臨時開館  
企画展開催に伴う開館（1日）  
2月10日（月）

### (2) 菅谷館跡管理・整備事業

菅谷館跡を史跡公園として広く安心・安全に県民の利用に供するため、清掃、除草、樹木の伐採・剪定、補修等の維持管理を行うとともに、土塁・空堀等遺構の保存を図る。  
比企城館跡群連絡会議を通じ、比企城館跡群として連携した保存と活用を推進する。

### (3) 調査研究事業

- 菅谷館跡及び埼玉県の中世城館跡を中心とした郷土の考古資料の収集、調査及び研究を行う。
- ア 国指定史跡「比企城館跡群」の史跡整備に関する調査と研究
  - イ 菅谷館跡関連資料調査
  - ウ 武蔵武士に関する調査
  - エ 中世城館跡に関する調査
  - オ 板石塔婆の調査
  - カ 中世石造物の調査
  - キ 古代中世遺跡の調査

### (4) 常設展示事業

- ア 比企歴史の丘ガイダンス  
ビデオコーナー等で比企地域の様々な文化財や観光地などを映像で紹介し、探訪コースや文化財などの情報をはじめ、彩の国比企歴史の丘に関する総合案内を行う。
- イ 埼玉県の中世史跡の案内  
埼玉県内の中世史跡を玄関ホールの模型・展示パネル及びビデオコーナーで案内する。
- ウ 秩父平氏の本拠・畠山重忠・戦国時代の城館・供養と埋葬  
畠山重忠ロボット、秩父平氏の本拠・嵐山町、菅谷館の主 畠山重忠、中世前期の武士の館、国指定史跡比企城館跡群、供養と埋葬、そしてスポット展の各コーナーで、中世における武士と庶民の暮らしを紹介する。
- エ 学習コーナー  
常設展示や企画展示に関連した図書を配架し、来館者が自由に閲覧できるスペースを提供。生涯学習活動の一助とする。

## (5) 企画展示

中世城館跡・寺院、板碑及び石造物、並びに武蔵武士などの人物に関する調査・研究成果を展示公開することにより、中世の歴史に関する理解と普及を図る。

ア テーマ 城ってなんだ

イ 主催 嵐山史跡の博物館

ウ 協力 日本城郭協会（調整中）

エ 概要 「城郭ブーム」と言われる近年、多くの人々が城郭を訪れるようになり、観光、学習などの面で、城郭は一層人々の興味をひく存在となっている。当館が所在する比企地域は著名な中世城郭が集中する地域であり、現地を見て学ぶ上で恰好のフィールドとなっている。本展覧会では、城郭とは元来どのような場所だったのか、研究はどう進められてきたのか、現地の遺構をどう読み取るかなど、より楽しく深く理解することができるポイントなどについて紹介する。

オ 期日 1月11日（土）～3月2日（日）

カ 会場 嵐山史跡の博物館展示室

## (6) ロビー展示

ロビーにおいて、民間団体の作品発表、地域の文化財を紹介する展示等を行う（年間8回）。

## (7) 教育普及事業

調査研究の成果や収蔵資料を活用した講座・見学会等の開催や各種印刷物の刊行を行う。

ア 歴史講座の開催（年3回：8月30日・10月4日・12月5日）

イ 文化財めぐりの開催（年3回：5月17日・10月20日・2月28日）

ウ 子供の日記念事業の実施（年1回：5月5日）

エ 夏休みこども体験教室の実施（年2回：7月27日、8月10日）

オ 館跡ガイドツアーの実施（年6回：4・5・11・1・2・3月に各1回）

カ 菅谷館跡整備関連事業の実施（年1回：12月1日）

キ 県民の日記念事業の実施（年1回：11月14日）

ク インターンシップ・体験学習の実施（通年）

ケ レファレンスの実施（通年）

コ 企画展図録等の刊行

## (8) 資料保存事業

ア 資料の整理、保存及び資料台帳の整理

イ 図面、拓本、写真資料のカード化及び電子データ化

## 5 主な事業の内容

### (1) 歴史講座

郷土の歴史や文化を地域の人々に紹介し、歴史的文化遺産と郷土に対する理解を深めてもらうことを目的に開催する。

◆ 歴史講座1 「斎藤実盛」 (仮)  
ア 日 時 8月30日 (金) 14:00~15:30  
イ 会 場 国立女性教育会館講堂  
ウ 定 員 500人

◆ 歴史講座2 「上杉謙信の最終戦略」 (仮)  
ア 日 時 10月4日 (金) 14:00~15:30  
イ 会 場 国立女性教育会館講堂  
ウ 定 員 500人

◆ 歴史講座3 「比企郡の城郭」 (仮)  
ア 日 時 12月5日 (木) 14:00~15:30  
イ 会 場 国立女性教育会館講堂  
ウ 定 員 500人

## (2) 博物館ミニ講座

博物館や文化財などに興味を持ち始めた初心者向けの講座。博物館そのもののほか、博物館が所在する菅谷館跡、周辺地域の魅力を知ってもらうことを目的に開催する。

◆ 博物館ミニ講座1 「館跡の見方・歩き方」  
ア 日 時 6月14日 (金) 14:00~15:30  
イ 会 場 嵐山史跡の博物館講座室  
ウ 定 員 80人

◆ 博物館ミニ講座2 「道と考古学」 (仮)  
ア 日 時 9月20日 (金) 14:00~15:30  
イ 会 場 嵐山史跡の博物館講座室  
ウ 定 員 80人

◆ 博物館ミニ講座3 「比企の縄文」 (仮)  
ア 日 時 11月8日 (金) 14:00~15:30  
イ 会 場 嵐山史跡の博物館講座室  
ウ 定 員 80人

## (3) 企画展関連講演会「城ってなんだ」

企画展の内容について理解を深めてもらうため、展示に関連した講演会を開催する。

ア 主 催 埼玉県立嵐山史跡の博物館  
イ 日 時 2月16日 (日) 14:00~15:30  
ウ 会 場 国立女性教育会館講堂  
エ 定 員 500人



#### (4) 文化財めぐり

県内各地に所在する史跡を現地で学芸員が説明し、身近な郷土の歴史・文化に対する理を深める。

##### ア 概要

第1回 5月17日(金) 「岩殿観音・正法寺と武士の本拠を訪ねる」

第2回 10月20日(日) 「鎌倉街道に関連する史跡をたずねる」(仮)

第3回 2月28日(金) 「秩父平氏畠山氏の拠点・菅谷館跡周辺をたずねる」(仮)

イ 定員 各回30人

#### (5) 子供体験教室

郷土の歴史や文化について学習する機会を提供する。

・子供の日記念事業 5月5日(日・祝) 10:00~15:30

・夏休みこども体験教室

◆ 夏休みこども体験教室1 「金継ぎにチャレンジ」 7月27日(土) (高学年向け)

◆ 夏休みこども体験教室2 「紙よろいをつくろう」 8月10日(土) (低学年向け)

#### (6) 県民の日記念事業

昔の遊びの体験を中心に各種体験学習・実演を行い、忘れられつつある郷土の暮らしや文化に親しんでもらう。

ア 日時 11月14日(木) 10:00~15:00

イ 会場 エントランスロビー・三ノ郭芝生広場など

ウ 対象 児童・生徒・一般

#### (7) お城開き

館跡が見学しやすくなる冬の季節に先立ち、学芸員立ち合いのもと、普段は入れない堀や土塁に入り落葉や枯れ枝の除去など環境整備活動を行う。二ノ郭・三ノ郭を一望できる博物館屋上でのミニ講座も併せて実施。

ア 日時 12月1日(日) 10:00~15:00(予定)

イ 会場 嵐山史跡の博物館・菅谷館跡

ウ 対象 一般

## 第6章 収蔵資料概要

---

埼玉県内には、約3万5000年前の旧石器時代から中世、近世まで、現在1万余箇所の「周知の埋蔵文化財包蔵地」が所在する。集落や古墳、城跡、寺院跡など、その時代や性格は多岐にわたる。さらに比企地域には国指定史跡5件、県指定史跡18件が所在するとともに、武蔵武士にゆかりある中世の重要な遺跡も見ることができる。これらの遺跡について、当館ではこれまでに「古代窯業調査」「板石塔婆緊急調査」「中世寺院跡調査」など、分布調査や発掘調査を実施しており、それらの調査で収集した資料について、前身である歴史資料館の時から収蔵している。

さらに本県には特色ある歴史資料や民俗資料も数多く受け継がれている。急速な都市化や生活様式の変貌によって散逸・消滅の危機に瀕している歴史資料、民俗資料の保存が長らくの課題となってきた。とりわけ比企地域は緑泥石片岩製の産地であり、県内には2万7千基もの板碑（中世石塔）が確認されている。そのため、当館には板碑を中心として多数の中・近世の歴史資料が収集保管されてきた。

なお、歴史資料館の時代には、「比企丘陵域の生産・生業」を主なテーマとして、生産・生活用具をはじめとする民俗資料も収集保管してきたが、それらの民俗資料7,331点は、平成18年の県立博物館施設再編整備計画に基づき2010年より歴史と民俗の博物館が収蔵することとなった。これらの民俗資料は、現在もなお分散収蔵という形で当館に収められている。

現在、当館では上記の経緯を踏まえつつ、国指定史跡比企城館群跡「菅谷館跡」や、比企地域の中世城館跡をはじめとする貴重な文化財を、将来にわたって確実に保存・管理するとともに、関係史料の収集、保管、調査研究を進めるという博物館のミッション（使命）に基づき資料を収集保管している。

当館の収蔵資料点数は以下のとおり。

- ・考古資料 931点：「古代窯業調査」「中世寺院跡調査」などで収集した須恵器や瓦を中心に収蔵
- ・歴史資料 549点：板石塔婆をはじめとする中世の石造物を中心に収蔵

## 第7章 施設設備の概要

---

### 1 施設設備の概要

所在地 埼玉県比企郡嵐山町大字菅谷757番地

敷地面積 約126,731m<sup>2</sup>

延床面積 3,532.90m<sup>2</sup>

構造 鉄筋コンクリート造

階数 地上3階, 塔屋1階

天井高 事務室・研究室H=2,500mm

廊下H=2,200mm

講座室H=5,000mm

収蔵庫H=4,830mm

展示室H=3,800mm

### 仕上概要

屋根 アスファルト防水・シート防水

外壁 コンクリート打放しアクリル系吹付タイル

内部 (ロビー) 天井・石膏ボード、壁・コンクリート打放しアクリル系吹付タイル、床・特殊レンガタイル貼り

(講座室) 天井・石膏ボード、壁・難燃性練付ベニヤパネル貼り、幅木・ラワン幅木、床・塩化ビニルタイル

(特別収蔵庫) 天井、壁・檜縁甲板張り、床・檜フローリング貼り

(研究室) 天井・岩綿吸音板、壁・モルタルペンキ塗り、幅木・塩化ビニル幅木、床・塩化ビニルタイル

(展示室) 天井・溶接金網、壁・ヘンククロス貼り、幅木・塩ビソフト幅木、床・塩ビシート貼り

(展示ホール) 天井・石こうボード、壁・コンクリート打放し小タタキ仕上、床・塩ビシート貼り

(展示ケース) 天井・アクリルルーバー、壁・可動パネル、床・パンチカーペット

### 空調設備

空調方式 パッケージ形エアコン

ダイキン工業株式会社製

<SZYV140CA>

玄関ロビー(4台)、講座室、(2台) 展示館(4台)、体験学習ホール(4台)

<SZYV80CAT>

スタジオ(1台)、考古資料室(1台)

<RZYP140CB> 研究員室(1台)

<FXYFP36MJ> 収蔵庫(8台)

<FXYFP36MB> 図書室・書庫(3台)、会議室(1台)

<FXYP28MJ> 収蔵庫 (8台)  
 <SZRV80BAT> 民俗資料室 (1台)、歴史資料室 (1台)  
 <SZRH40BAT> 1階ホール (1台)  
 <SZRC160BA> 展示室 (1台)  
 <SZRV160BAD> 調査記録保管室 (1台)  
 三菱重工製 1台  
 <ASJ140T> 特別収蔵庫 (1台)  
 エアハンドリングユニット、赤外線式蒸気加湿器

## 電気設備

受電電圧 3相3線式 6,600V  
 変圧器 電灯用 単相 75kVA×1基  
 動力用 3相100kVA×1基  
 冷房用 3相150kVA×1基

### 高圧進相用コンデンサー

3相50kVA 1台 3相30kVA 1台

### 放送設備

非常用 (業務兼用)  
 ラック型アンプ 600W 1台

### 電話設備

ボタン式824 22台

### 防犯設備

電波式感知器 (展示ホール)  
 磁気近接スイッチ5回路 (30個)

非常照明設備 ミニハロゲンランプ JB13×1 埋込非常灯電池内蔵 100V 53台  
 ミニハロゲンランプ JB13×1 直付非常灯電池内蔵 100V 16台  
 ミニハロゲンランプ JB30 埋込非常灯電池内蔵低天井用 100V 30台  
 ミニハロゲンランプ JB30 直付非常灯電池内蔵低天井用 100V 13台  
 ミニハロゲンランプ JB30×1 直付非常灯電池内蔵高天井用 100V 6台

照明設備 (展示室) LED、白熱灯、ピンスポット併用 調光器23台により照度調節可能  
 (収蔵庫) LED  
 (その他) LED

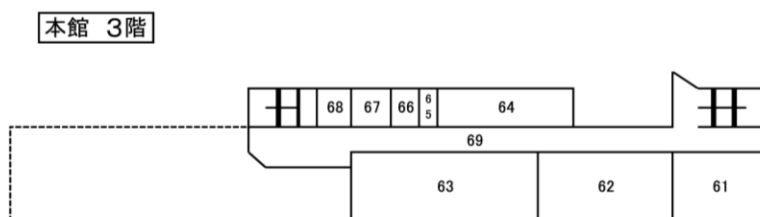
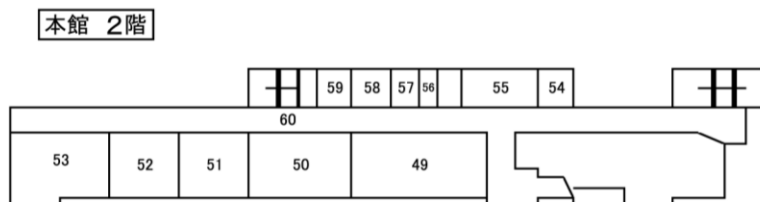
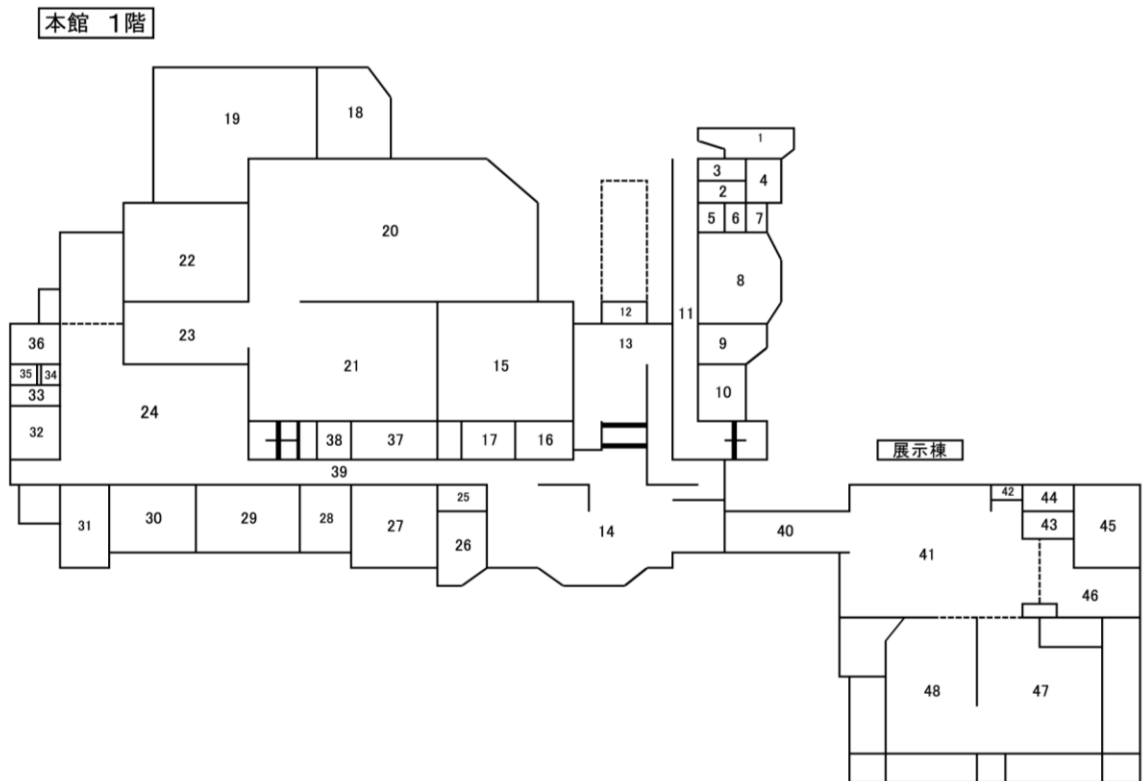
## 衛生設備

給水設備 受水槽 4.5m<sup>3</sup>  
 給水ポンプユニット  
 80φ×765ℓ/min×2.1m×1.5kw×3台 (並列ローテーション)  
 給湯設備 局所給湯方式 (工作室・シャワー室・警備員室・各階湯沸室)  
 プロパンガスボンベ 50kg×2本

## 消防設備

消火設備 屋内消火栓7か所 消火ポンプ80φ×450ℓ/min×6.3m×1.1kw×1台  
 火災報知器 受信機 P型1級15回線 排煙受信盤15回線 防煙垂れ壁 1か所  
 熱感知器 101個 煙感知器 38個

## 2 各室配置図及び面積



番号	室名	面積 (㎡)	番号	室名	面積 (㎡)
1	作業員室	23.70	39	廊下・階段	56.50
2	警備員室	8.64	40	通路	37.90
3	浴室	6.70	41	比企歴史の丘ガイダンス (エントランス)	140.66
4	休養室	15.10	42	身障者便所	4.40
5	湯沸室	4.68	43	男子便所	9.50
6	ロッカー室	3.70	44	女子便所	11.02
7	印刷室	5.70	45	空調機器室	41.76
8	管理事務室	55.05	46	倉庫	41.40
9	副館長室	17.25	47	展示室 I	174.24
10	館長室	25.00	48	展示室 II	142.56
11	廊下・階段	69.05	49	研究員室	64.00
12	風除室	10.80	50	考古資料室	40.00
13	ホール	96.00	51	歴史資料室	30.00
14	ロビー	167.70	52	民俗資料室	30.00
15	講座室	144.00	53	記録保存室	43.50
16	男子便所	16.80	54	更衣室 (1)	7.50
17	女子便所	13.20	55	空調機械室	22.50
18	電気室	48.62	56	更衣室 (2)	5.70
19	機械室	140.00	57	男子便所	9.00
20	収蔵庫 (1)	280.00	58	女子便所	7.50
21	収蔵庫 (2)	192.00	59	湯沸室	7.50
22	特別収蔵庫	80.00	60	廊下・階段	184.28
23	仮収蔵庫	60.00	61	会議室	47.00
24	体験学習ホール	165.00	62	調査記録保存室	70.50
25	器材庫	8.00	63	図書室・書庫	94.00
26	暗室	19.37	64	空調機械室	24.00
27	スタジオ	47.00	65	倉庫	8.70
28	整理室	20.00	66	男子便所	6.60
29	工作室 (2)	40.00	67	女子便所	6.60
30	工作室 (1)	40.00	68	湯沸室	7.50
31	殺虫消毒室	23.50	69	廊下・階段	134.55
32	乾燥室	21.30	床面積 1階 2,654.29 2階 465.50 3階 413.11 延床面積 3,532.90		
33	便所	6.00			
34	湯沸室	3.00			
35	シャワー室	7.50			
36	警備員控室	18.70			
37	倉庫 (1)	22.20			
38	倉庫 (2)	7.50			

# 利 用 案 内

## 開 館 時 間

午前9時から午後4時30分まで（入館は午後4時まで）

なお、7・8月は午前9時から午後5時まで（入館は午後4時30分まで）

## 休 館 日

毎週月曜日（ただし、その日が休日等のときは、開館）

年末年始（12月29日から1月3日まで）

## 臨 時 休 館 日（令和6年度）

①令和7年1月7日（月）～1月10日（金） ②令和7年3月4日（火）～3月7日（金）

## 臨 時 開 館 日（令和6年度）

①令和7年2月10日（月）

## 観 覧 料

区 分	個 人	団体（20人以上）1人
一般	100円	60円
高校生・学生	50円	30円

義務教育終了前（中学生以下）の方、障害者手帳等お持ちの方（付添の方1名含む）は、無料です。

## 観 覧 料 免 除

教育課程に基づく学習活動として、展示館の見学を希望される場合は、事前に（なるべく10日前までに）所定の手続きをおとり下さい。観覧料が免除されます。

また、その他団体の方でも観覧料が免除となる場合がありますので、詳細は博物館総務担当までお問い合わせ下さい。

観覧料等免除申請書の様式は、当博物館のホームページのほか、埼玉県庁ホームページの電子サービス窓口からダウンロードできます。

## 写 真 撮 影

展示館の写真撮影は原則可能ですが、注意事項をお守りのうえ撮影してください。

## 所 在 地

〒355-0221 比企郡嵐山町菅谷 757

電話 0493-62-5896、5652 FAX 0493-61-1060

ホームページ <https://ranzan-shiseki.spec.ed.jp/>

Eメール [s625896@pref.saitama.lg.jp](mailto:s625896@pref.saitama.lg.jp)

## 交 通

東武東上線 「武蔵嵐山駅」西口下車徒歩15分

関越自動車道 「東松山インター」より国道254号線小川町方面へ約10分

「嵐山・小川インター」より国道254号線東松山方面へ約10分



**埼玉県立嵐山史跡の博物館『館報』第43号**

発行日 令和6年7月2日

編集・発行 埼玉県立嵐山史跡の博物館

〒355-0221

埼玉県比企郡嵐山町菅谷757

TEL 0493-62-5896

FAX 0493-61-1060

<https://ranzan-shiseki.spec.ed.jp/>